

1901

海軍省武功調査員局

軍機

香取丸機密第二五號ノ一四

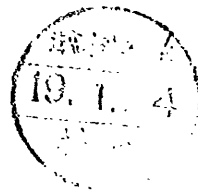
自昭和八年十一月一日
至昭和八年十一月三十日

特設運送船香取丸戰時日誌

特設運送船香取丸

十二月一日提出

9/9



目次

五	四	三	二	一
(三) 作	(二) 寫	(一) 戰	參	令
戰	戰	諸	令	人
經	經	調	員	經
過	過	查	執	現
概	概	事	告	狀
要	要	項	等	過
	真	訓	考	

(終)

昭和十八年五月三日 特設運送船香取丸戦時日誌

一経過

二般情勢乃並敵軍ノ情勢

今月初頭ヨリ通信情報ニ依ルニ敵空母真珠港出撃セルモノノ如ク其ノ

他ノ水上艦艇ヨリコトヤ東方面ニ策動シシアルモノノ如シ

カントンフナフチ方面敵大型機ノ数帯溜シシ、アリテコトヤ

方面ニ攻勢ヲ取ラントスル算頗ナリ

敵大型機ノ未幾ニ備ヘテ十七日十八日ニ四ニワタリコトヤ方面第一警戒配

備發令セラル

十九日未明ヨリ敵艦上機多数數次ニ直クメラワナルヲ空襲ス空母ヲ含む有

カナル敵機動部隊數隊全方面ニ行動シシナリ

十九日丙作戦第三法警戒發令サル

二十日丙作戦第三法用意發令サル

前日引續キ敵ハ水上艦艇ヲ交ヘメラワラ猛攻ニシシアリ

二十日未明ヨリ敵ハメラワ島ニ上陸ヲ開始セリ

吾ガメラワ守備隊ハ決死敢闘敵上陸部隊ヲ撃滅セテレシアリ

丙作戦第三法發令セラル

メラワ上陸ト共ニ敵ハマキン、アバママニモ上陸セリ敵上陸ト共ニ西地共ニ通信

運送ナレ
 敵上陸以來吾が航空部隊ハ守備隊ヲ呼惹シ連日敵水上艦艇並上陸軍
 ヲ襲ヒ多大ノ戦果ヲ收メシゾアルモ敵又攻兵力大ニシテ彼我西軍ノ間
 一日夜ヲ分多激戦死闘ガ際返サレシアリ
 (一)任務簡成配備
 機密アルニシテ方西所備部隊命令作第百號並今第百號別紙ニ依ル任
 務ニ従事ス
 (二)作戰指導
 六根司令官ノ指揮ヲ受テ
 (三)戰備政策事項
 特記事項ナレ
 二人員ノ現狀
 (四)職員官氏名

同	同	乘	指揮官	職	主	務	官	氏	名	記	事
		組					少佐	中村	貞彦		
			航海運用長職務執行				大尉	門脇	雅夫		
			砲術長職務執行				大尉	打和	喜太郎		
			救護長職務執行				大尉	西英	雄		

乘組	軍医及職務執行	医中尉	野村耕平	十月十日退任			
同	通信長職務執行兼航海士	中尉	小河良一				
同	掌務長 第一分隊士	機曹長	千場長右衛門				
同	掌務長 第一分隊士	兵曹長	齊藤吉五郎				
同	掌務長 第一分隊士	同	高柴傳吉				
同	走長 第三分隊士	機曹長	岡本繁太郎				
事務嘱託	無線 通信士	判任嘱託	神原清				
(一) 下士官兵及其他員數	分兵科	機関科	工作科	衛生科	主計科	其他	計
至官兵其他	五	五	一	三	七	二	一〇四
三人達報告等	受元(通報)	令達報告等	種別				
一日 〇八三〇	一日 一一一〇	一日 〇八三〇	電信				
UVB機密部隊 内南洋部隊	内南洋方面部隊 (GF長官旗艦)	UVB電令作才四九號 二三航空隊及長夜ラ方面部隊ニ于テガオニ海上 護衛隊ニ支テ歸入セルニ長夜ラUVB主隊ニ歸入 長夜トトシテ方面ニ在リテ訓練ニ從事スベシ	電信				
四日 二一〇〇	四日 二一〇〇	三日 〇八三〇					
UVB機密部隊 内南洋部隊	GF下NTF各機飛	飛行哨戒未明ヨリ午前中最近ニ無ク嚴重ナリ尚 四日ヨリブナレ基地大型機モ右ト密接ニ連絡シ					

<p>四艦隊司令部 一〇一五 一〇一〇 一〇一五 四艦隊長官</p>	<p>八日 一〇二二 通信部隊司令部 才久一三二番電 通信部隊司令官</p>	<p>七日 一五四一 通信部隊司令部 才久一三二番電 通信</p>	<p>通信部隊司令官</p>
<p>一〇日 一四一〇 四艦隊長官 才久一三二番電 通信部隊司令官</p>	<p>八日 二〇五五 才久通信隊 三三下下下長官 海軍 機動部隊各種艦</p>	<p>七日 一七一五 才久通信隊 才久通信隊 各指揮官</p>	<p>才五音響隊部隊 カビエン基地 内南洋方面部隊 シ、アル徴アリ</p>
<p>第四艦隊指揮官長官ニ変更アリ</p>	<p>中司令大平洋方面左記如キ特異ノ事象アリ 眞珠塔所在敵空母部隊ノ出撃ニ関係ナク有ル 算大ニシテ敵艦隊監視ノ要アリト認ム 七日ハワイ方面有敵艦隊出現數一五機外ニ不詳機 二機計十九機ヲ常ノ約四倍ナリ 西三機之又及レニ七月二四〇〇E五度九二度三〇分 附近ニ三機ヲ特異ノ通信状況ヲ示シ水上艦隊ラシキ 参照ニ定メリ詳細ニ通信状況ヲ示シ水上艦隊ラシキ 疑アリ喫連日出現セリ 行動及偽通通信ノ又變習ナルヤモ知シガルモ注意 ノ要アリ</p>	<p>一三五水上艦艇算アリ測定極位東經七五度南緯 二五三〇分積度並〇〇V九五〇ライジ一航空基地ト推 定ノ宛ニ誌ノ航空母艦送信セリ時出符號DZW等 時ノ出符號依レバ才久艦隊司令部ナルモ変更更 サレタル疑アリニシテ感度極メテ高クギルハト才 久最重警戒ヲ要スルモノト認メラル</p>	<p>シ、アル徴アリ</p>

<p>一四日 〇九五五 六二警備隊司令部 電</p>	<p>一四日 一〇三〇 六二面防備部隊 電 (四下二二SF)</p>	<p>六二警備隊司令部 〇八四六番電、飛行機未 襲情況ニ鑑ミ警戒ヲ嚴ニセヨ</p>	<p>電信</p>
<p>一四日 一一四一 六二通機密ヲ 通</p>	<p>一四日 一七八 六二面防備部隊 各指揮官</p>	<p>中野大平洋方面綜合敵情(三日) 通信上持、異常ヲ認ムガレモフナハ、夜間 空襲ヲ受ケシアル旨ヲ文送信、又、 空襲ニ関シテ、特定艦ヲ送信セリカントシテ、 ヨリ移動、未レリ大部、航空機ハ尚、マナニ滞留 シアルモノト認メラレ、依然、ギルバートマーシャル方面 警戒ヲ要ス</p>	<p>シ</p>
<p>一六日 〇八三〇 六二通機密ヲ 電</p>	<p>一六日 〇九五二 六二面各所隊長 電 (三 報)</p>	<p>決少謀 十一月十五日付左ノ通令アリキリ 秋山(二八三)才四艦隊司令部附 (才六報司令部官ヲ定者)</p>	<p>シ</p>
<p>一七日 六二司令部</p>	<p>一七日 〇八三〇 一般</p>	<p>〇八〇五敵大型機一機見オウトニ未襲セリ 才一警戒配備トナセ</p>	<p>信號</p>
<p>一七日 六二司令部</p>	<p>一七日 一一二三 一般</p>	<p>才ニ警戒配備トナセ</p>	<p>シ</p>
<p>一七日 一〇四三 六二通機密ヲ 通</p>	<p>一七日 一五二五 六二面各所隊長 電</p>	<p>中野大平洋方面綜合敵情(十日) 一、奥珠港放送通信及ハ、イ、哨戒機出現状況等 リハ、イ、系、外、界、一、部、航、行、動、中、偵、察、ア、リ、 レ、ヨ、ス、ト、ン、哨、戒、機、ハ、一、日、一、七、日、連、續、出、現、右、三、機 解アルヤモ知ス</p>	<p>シ</p>

<p>一八日 司令部</p>	<p>一八日 一三三〇</p>	<p>一既報カントン附近(推定)ニ水上艦艇、首アルモノヲ測定最近同方面ニ出現セルモノナク精注意ヲ要ス三ツナツテ方面一七日前前カントンヨリ一ツツチニ大艦隊移動セリ一ツツチニハ大艦隊増派リレシムルハ同方面ヨリセルマーシャルヤルバート方面空襲ハ組織的トナリ漸次大規模化セリセル傾向アリト認ム移来ナセ日現在一ツツチ所在艦ハ小艦隊ヲ除キ一五隊以上推定五隊以上ナリ</p>	<p>信託</p>
<p>一八日 司令部</p>	<p>一八日 一三四五</p>	<p>一八日 一四一五 香取丸等三隻丸 三山丸等三隻丸 三山丸等三隻丸 三山丸等三隻丸 三山丸等三隻丸 三山丸等三隻丸</p>	<p>ノ</p>
<p>一八日 司令部</p>	<p>一八日 一四一五</p>	<p>本日、護衛打合ヲ取上ム香取丸三山丸等三隻丸 興丸ノ生港ハ當分延期セラル</p>	<p>ノ</p>
<p>一九日 六機隊密着 六機隊密着 六機隊密着 六機隊密着 六機隊密着 六機隊密着</p>	<p>一九日 一四一八</p>	<p>敵艦上務ヲ教フアルタラワニ未龍殺シヤリ 警言戒ヲ嚴シセヨ</p>	<p>電信</p>
<p>一九日 ILV B 機密 ILV B 機密 ILV B 機密 ILV B 機密 ILV B 機密 ILV B 機密</p>	<p>一九日 一四四四</p>	<p>ILV B 電令作ヲ五四號 マーシャルヤルバート方面ニ警言戒配備トセ</p>	<p>ノ</p>

<p>一九日 司令部</p>	<p>一九日 一〇三八 南洋軍司令部 通</p>	<p>一九日 一五一五 U13機密部隊 内南洋部隊</p>	<p>二〇日 司令部</p>	<p>二〇日 〇三土〇 内南洋部隊 司令官 内南洋部隊指揮官</p>
<p>(G下長官権限) 一九日 〇五〇五 一般</p>	<p>一九日 一三三三 各方面指揮官</p>	<p>一九日 七〇〇 三三S F 三板 聯合艦隊長官権限 内南洋部隊</p>	<p>二〇日 〇四四五 永興丸 行崎 山積丸 立山丸 香取丸 朝風丸</p>	<p>二〇日 〇四五〇 内南洋部隊 聯合艦隊長官 権限</p>
<p>第一警戒隊配備トナセ</p>	<p>中隊大洋方面総合敵情(二八日) 基地通信・依ルギルバート方面米機敵機動 部隊ハ2隊アルモノ、如シ ニナラチカントニ依然陸上攻撃機大型機留中ナリ</p>	<p>U13電令作ヲ五五號 二内作戦ヲ三法並ニ U13B下全カヲ拳ゲララシムル一八九度一三〇度附近、敵機動部隊(空母二隻外十五隻)ヲ攻撃スベシニアラバマシ、東一五〇度、敵輸送船三隻及駆逐艦一隻ハコバマシニ對シ上陸ラ人企圖スル算アリ警戒ヲ嚴ニスベシ</p>	<p>信令ヲハテ號令散鋪地を適リ指定ス各船ハ準備出来カチ散鋪スベシ永興丸、オルベラ島ノ三十九度一〇五〇米、香取丸、オルベラ島ノ三十九度二五七〇米、山積丸、オルベラ島ノ三十九度四八〇〇米、行崎朝風丸、立山丸、現鋪地</p>	<p>二内作戦ヲ三法用意 ニナラシムコリアナシ方面ヲ三法警戒配備トナセ</p>
<p>信號</p>	<p>電信</p>	<p>ノ</p>	<p>信號</p>	<p>電信</p>

<p>二〇日 〇八〇〇 三根機密才 200番電 二根</p>	<p>二〇日 〇八二五 才面防務部隊 三〇日 四下 先遣部隊 才面防務部隊</p>	<p>二〇日 一〇三〇 特種ウケセリニニ 被揚ス 見立針路北速力20上空直角務ヲ取入</p>	<p>電信</p>
<p>二〇日 一〇〇五 四根機密才 201番電 如艦隊司令長官</p>	<p>二〇日 一〇三五 聯合艦隊長官補艦 海軍大臣 栗田健武 才下各艦艦 内南洋部隊</p>	<p>電令作才八一九號 移動航空部隊ハ速ニマール方面ニ進出ス</p>	<p>、</p>
<p>二一日 〇三二九 才下機密才 10番電 聯合艦隊長官補艦</p>	<p>二一日 〇四三〇 乙號作戰部隊</p>	<p>U.N.B電令作才六六號 一丙作戦才三法才功内南洋才面部隊ハ全 クヲ奪テ敵ギルハト攻略部隊ヲ喪滅セトス 三航空部隊ハ及覆敵輸送船團ヲ攻撃スベシ</p>	<p>、</p>
<p>二一日 〇四二七 才下機密才 24番電 才通</p>	<p>二一日 〇五三〇 内南洋部隊 司令官才在艦才 才下各艦艦</p>	<p>敵ハ水陸両用戦車視界内一〇隻以上礁内探 捕ヲ一北岸一帯ニヨリ持岸シテ、アリ其後、ニ上陸 二再艇二〇隻以上見ユ敵ハ内ニ軍艦又ハ巡洋艇 特型ニ隻配運艇又ハ掃海艇四隻以上進入掩護射 撃ヲナシ、アリ其後、敵艦ハ外ニ入り見界不 明、為動靜不明上空、水上、水上機ヲ見ユ</p>	<p>、</p>
<p>二一日 〇六三三 三根機密才 20番電 三根</p>	<p>二一日 〇八一〇 才下</p>	<p>ク</p>	<p>ク</p>

<p>軍令部密電 三二五二番電 軍令部密電 三二五二番電</p>	<p>二二日 〇八二一 通</p>	<p>二二日 〇四一〇</p>	<p>二二日 二二三〇 内南洋部隊 聯合飛行隊長 權飛</p>	<p>二二日 一五四一 内南洋部隊 聯合飛行隊長 權飛</p>	<p>二二日 一七三〇 報</p>
<p>二三日 〇五四五 三報 六報</p>	<p>二二日 〇九三〇 四下長官權飛 四下長官權飛 四下長官權飛</p>	<p>二二日 一〇四二 大連第一師長 乙號作隊隊長</p>	<p>二二日 二二〇〇 内南洋部隊 聯合飛行隊長 權飛</p>	<p>二二日 一六〇六 三報 六報 内南洋部隊 聯合飛行隊長 權飛</p>	<p>二二日 二二〇五 報 下各警備隊 (四機隊)</p>
<p>本日 内南洋方面、戦況、関し、夫、上、セル、所、 陸下、ハ、所、在、各、奇、隊、方、兵、克、ク、敵、 對、シ、勇、戦、在、シ、而、モ、氣、愈、々、胆、益、ナ、ル、ヲ、深、ク、 予、嘉、賞、ス、ル、ヲ、特、ニ、シ、テ、守、備、隊、對、</p>	<p>夕、ワ、昨、日、一、五、三、〇、以、後、不、感、ナ、リ、シ、ト、コ、ロ、本、日、二、三、日、 七、五、五、出、現、只、今、當、隊、ニ、感、二、連、絡、確、保、困、難、ナ、ル、 狀、況、付、各、部、ハ、直、接、受、信、ニ、分、ク、中、継、ニ、任、セ、シ、度、 使、用、電、波、三、七、五、七、五、ト、〇、(夜、間)、八、六、〇、〇、ト、〇、 (看、聞)</p>	<p>マ、キ、ン、二、二、日、〇、四、三、〇、以、後、連、絡、ナ、シ</p>	<p>内南洋部隊電令作才66號 ヨ、リ、シ、テ、早、ル、ハ、ア、ト、方、面、緊、急、通、信、利、便、ス</p>	<p>内南洋方面部隊航空部隊ハ、不夜ヲラワ 敵攻隊部隊ラ、又、復、攻、雲、ス、ベ、シ</p>	<p>十隊ヲ以テ制空軍一全軍、決死戦斗ノ士ニ氣胆盛 三持報機密アリ、二〇、五、五番電ニ鑑ミ、焦、内、ヨ、リ、 敵、上、陸、對、シ、特、ニ、防、備、施、設、留、意、ス、ベ、シ</p>

<p>二四日 U N B 機 密 隊 内南洋方面部隊</p>	<p>二三日 一四四五 通 密 隊 隊 通</p>	
<p>二四日 二三四五 内南洋方面部隊 (各下各種艦) 東 通 入 通</p>	<p>二三日 一四五五 ?</p>	<p>二方面防備部隊 支隊 七ノ北ノ七ノ</p>
<p>U N B 電令 下 七 面 至 急 通 信 制 限 ス</p>	<p>二方面防備部隊 シ 激 勵 御 言 葉 ヲ 賜 ハ リ タ リ</p> <p>マインヤル キルバート方面未裝隊機動部 隊 通 信 上 ヲ 見 ザ ル 統 成 概 ネ 不 知 三 隊 ト 認 ム ル モ ハ 二 U E O 及 N A T A 二 日 呼 出 符 号 半 同 様 二 三 日 座 下 二 約 守 艦 隊 有 二 南 方 主 要 指 揮 官 ト 同 隊 指 揮 官 二 多 ク 出 発 ス 一 飛 隊 一 四 九 七 或 八 四 U 2 P 八 分 離 行 動 中 ノ 機 隊 主 隊 二 U E O 二 日 一 七 二 五 於 ケ ル 測 定 位 置 夕 方 北 西 近 海 二 列 二 遊 曳 部 隊 如 キ 行 動 中 ナ ル 任 務 隊 (L 9 L O 三 二) 有 度 下 二 四 艦 隊 二 同 隊 八 大 平 洋 飛 隊 長 官 二 南 方 主 要 指 揮 官 及 主 隊 ト 同 隊 二 一 二 三 飛 隊 系 二 出 発 多 ク 二 日 一 三 二 六 頃 明 定 位 置 夕 方 北 東 三 〇 哩 附 近 二 他 二 夕 方 面 行 動 中 ノ 不 明 艦 隊 五 D P 及 太 平 洋 飛 隊 長 官 遊 曳 部 隊 ト 一 連 絡 密 隊 二 在 不 明 一 Z 2 W 下 四 マーシャルギルト方面未裝隊機動部隊 二 附 随 せ る 潜 水 艇 部 隊 一 隊 二 万 二 三 隻 アリ 五 航 母 一 二 項 二 項 両 者 二 今 在 ヒ ア リ モ ノ ト 認 ム</p>	

五 作戰経過概要

(一) 諸調査事項 ナレ
 (二) 戦訓 ナレ
 (三) 寫真 ナレ

四 参考

<p>一七日 八時 内南洋部隊機密 字三〇八五〇番電 内南洋部隊</p>	<p>二七日 一二〇〇 内南洋部隊 (号下各P A) 司令官總長</p>	<p>内南洋方面部隊電令作才七五號 二月二十六日附當隊已令三左記ヲ追知(部隊) 指揮官兵ノ主要任務(領) 以レバ? 部隊才二機隊司令長官 聯合艦 隊其本給制ノ遊雲部隊兵ノ輸送 隊ノ支授 才一輸送隊才一四隊隊司令官 當隊軍 隊已令三依ル遊雲部隊兵ノ陸軍部隊ノ輸送 三才二輸送隊本職直率以NB Y Bヨリ派遣 ノ駆逐艦2 陸軍部隊ノ輸送 本日〇七〇〇陸軍部隊乗取又乗取終了セバ 香取也ハ早波三山丸ハ藤波ニ接付上人員悉ニ 拘作ヲ各船ニ務乗カレ度シ</p>	<p>電信</p>
<p>二八月 司令部 三〇月 一七三七 内南洋部隊機密 才八五二番電 内南洋方面部隊</p>	<p>二八日 〇五二五 五山丸 香取丸 三〇日 一八四六 内南洋部隊 G下各機 (乘運 八通)</p>	<p>内南洋方面部隊電令作才七二號 内南洋方面電令作才七二號ニ依ル通信制限 ヲ解ク</p>	<p>電信</p>

四		三		二		一		日	
マシラエロ		マシラエロ		マシラエロ		マシラエロ		在所	
五 二八 〇五	羊晴	三 二七 〇五	東北東三	五 二八 〇五	羊晴	三 二九 〇八	南東八	一〇〇〇	氣象
六 二七 〇五	東曇	三 二七 〇五	東北東三	六 二七 〇五	東曇	二 二九 〇八	羊晴	日没時	天候 風向風力 視界 湿度
隊 附 艦 四 号								一 隊 任 務	
								特 別 任 務	
輸送物件陸揚		便乗者運艦		衛下ニルオト		航戰輸送人員初搭載		経過摘要	
				香取艦指揮官		輸送人員		記事	

一〇	九	八	七	六	五
セ	工	ク	ハ	ニ	ロ
三〇 三二 三五	五〇 五二 五五	〇三 〇五 〇八	一三 一五 一八	二〇 二二 二五	二七 二九 三二
小 東 西	東 東 東	東 東 東	東 東 東	東 東 東	東 東 東
〇五 〇八 一一	〇〇 〇二 〇五	〇五 〇八 一一	〇八 一一 一四	〇五 〇八 一一	〇二 〇五 〇八
東 東 東	東 東 東	東 東 東	東 東 東	東 東 東	東 東 東
〇五 〇八 一一	〇〇 〇二 〇五	〇五 〇八 一一	〇八 一一 一四	〇五 〇八 一一	〇二 〇五 〇八

ク エ リ ニ 着 輸 送 初 件 揚 陸 石 炭 揚 載 八 〇 屯 清 水 一 〇 屯	輸 送 人 量 初 件 揚 陸	便 乘 名 乗 船 七 振 南 三 玉 丸 の 配 濟 特 務 船 渡 衛 一 下 ニ 山 丸 巴 甘 南 丸 ト 其 ニ ル オ ト ト 三 向 フ	便 乘 名 乗 船 七 振 南 三 玉 丸 の 配 濟 特 務 船 渡 衛 一 下 ニ 山 丸 巴 甘 南 丸 ト 其 ニ ル オ ト ト 三 向 フ	千 石 輸 送 初 件 揚 載 入
		便 乘 名 乗 船 七 振 南 三 玉 丸 の 配 濟 特 務 船 渡 衛 一 下 ニ 山 丸 巴 甘 南 丸 ト 其 ニ ル オ ト ト 三 向 フ	便 乘 名 乗 船 七 振 南 三 玉 丸 の 配 濟 特 務 船 渡 衛 一 下 ニ 山 丸 巴 甘 南 丸 ト 其 ニ ル オ ト ト 三 向 フ	

1916

一六	一五	一四	一三	一三	一二
----	----	----	----	----	----

ソ

五二 〇九	三二 〇五	一三 〇一	三二 〇九	五二 〇八	五二 〇八
三二 〇九	一三 〇五	一三 〇五	三二 〇五	三二 〇八	三二 〇五

	第五期南水へ清水三〇七文給ふ				

三	二	一〇	九	八	天
---	---	----	---	---	---

三 二八五 〇	半晴 東三 二八五	東三 二五 〇	小 北東三 二七五 一〇	景雲 東八 二五五 一〇	景雲 東三 二八五 〇	半晴 東八 二九 三〇
一 二五 五	東三 二六 〇	東三 二五 〇	東三 二五 〇	東南東 二五 〇	東三 二八五 〇	東三 二八五 五

石炭神給(七〇七)三月水補給(五〇七) 陸軍部隊兵器彈薬塔載	〇八五ノ才トニテ一羽未裝 〇八三〇空襲警報一羽未裝 〇九二〇空襲警報解除 一三三才ニ警言戒配備トナス 清水五三才塔載	一三三〇才ニ警言戒配備トナス 一三四五才ニ警言戒配備トナス	〇五五才ニ警言戒配備トナス 比レバ電令作才五五号ニ依リ所作戦才ニ 技警言戒ヲ令セラル 真水補給(七〇七)	内南洋部隊秘密才ニ〇〇三〇五番電 ニリ所作戦才ニ法用電令セラル	手明ヨリ本軍 向付テ マキニ通信連絡 ナシ	未明ヨリ敵機 上掛テ多数 ワナウルニホ 襲	一四三〇年五月 特選ヲFRニ 移揚
-----------------------------------	--	----------------------------------	---	------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------

1918

八	七	六	五	四	三
---	---	---	---	---	---

三 二 東 五 東 二	一 二 東 七 東 二	四 二 東 八 五 九	二 二 東 八 五 一 〇	三 二 東 五 九 一 〇 東 二 〇	三 二 東 九 五 一 〇 東 二 〇
二 二 東 〇 七 二	二 二 北 七 東 一 五 二	六 二 東 七 一 五 〇	四 二 東 一 九 三	二 二 東 七 一 〇	四 二 東 八 二 〇

〇 八 〇 〇 下 船 二 便 乗 セ ン 陸 軍 高 射 隊 令 附 登 降 薬 ヲ 早 波 ニ 携 付 揚 揚 ス					
					航 空 高 射 隊 及 水 上 飛 艇 上 陸 隊 ヲ 專 推 シ テ ア リ

1919

三〇	二九
----	----

三二東雲 〇五九	三二北東 〇五三
三二北東 〇八〇	一三北東 〇八〇

別紙第一

船体昭和十八年七月一日特設運送船香取丸

一 臨戦準備

二 後務及後務現員

一 第四艦隊附屋司シ方面防備部隊

二 准士官以上一〇 下士官五一〇三判任嘱託一 有員一

三 最近出渠年月日 昭和十七年七月二日

四 乗員ノ練度

晝夜ヲ分シ又實戰及實戰的訓練ヲシ蓋々術力氣力ノ向上ヲ計リ常

ニ實戰即應心ノ態勢ニ在リ

五 船体概要

一 上甲板各私室 兵員室 烹炊室等淺水箇所多シ

二 船底ノ汚穢甚シ 錨鎖庫 眞水庫ヨリ淺水ス

三 上甲板兵員室用野菜箱相砲彈架射ニ依リ全部破壊使用ニ堪ヘズ

四 船体附屋物損傷多入 載炭用デッキニ腐蝕使用ニ堪ヘズ

五 改造修理新設 特記事項ナシ

六 保存整備 良好

七 附屬物積込積降 特記事項ナシ

別表第二

兵器 昭和十八年十一月一日特設運送船香取丸

一 艦載準備 特記事項ナシ

二 主要兵器故障 故障

(一) 九三式特種交換器炎熱 過熱ニ依リ内部電線溶解腐蝕ニ導通絶縁層等ニ不良ナリ

(二) 九三式七七花機銃推進發條對空射撃ニ依リ切損現に補用品ト交換中

三 改造 修理 新設

九三式七七花機銃推進發條舞鶴海軍工廠ニ修理請求中

四 主ナル消耗兵器

品名	品名	本月消耗	本月残	品名	品名	本月消耗	本月残
八號通常彈改一	三八式小銃彈	0	100	九三式七七花機銃彈	九三式七七花機銃彈	0	2700
九號通常彈改二	一四式拳銃彈	0	300	九三式七七花機銃彈	九三式七七花機銃彈	0	560
九三式七七花機銃彈	九五式爆雷	0	600	九三式七七花機銃彈	九三式七七花機銃彈	0	18
九三式十三號機銃彈	九三式火口榴彈	0	400	九三式七七花機銃彈	九三式七七花機銃彈	0	240

五 保存整備

通信電路等々不通ナリ其ノ都度補修ノ上使用其他良好

別紙第三
自昭和十八年十月五日
至昭和十八年十一月三日

特設運送船 香取丸

機關

- 一、重要ナル機關、故障、缺損ナシ
 - 二、機關、修理、改造、新設ナシ
 - 三、機關、整正、備及、使用
 - 一、整正、備ニ、關スル、事項
 - 二、使用ニ、關スル、事項
- 左表、如シ

一、救正備二關スル事項

局部名稱	主給水ポンプ	煤吹掃除用蒸氣管
理由	現狀確認	蒸氣漏洩セル多キ
検査ノ状況	分解検査スルニヒストン蒸氣管中滑弁各部異状ヲ認メ、水部ポンプ弁摩耗甚シキモノ一個ヲ外異状ナシ	弁蓋下管接合部(軌付)ニアルニ破口ニ箇所ヲ認ム
着手竣工年月日	二〇一六	二〇一三
處	各部掃除手入ヲシテ蒸氣部ニハ鑼油塗抹セシ弁摩耗甚シキモノ一個ハ豫備品ト換裝シ、全部相合セテ行ヒ復旧試運転セルニ結果良好	特設艦山霜丸ニ修理請求宛成ニ付復旧通氣試験スルニ結果良好

二、機關動作表

任	務
轉	錨
兵	送輸
全	上
用	航
即	機待時
全	上
即	錨機待時
全	上
即	機待時
即	早荷積付機待時
計	

行 動	内 部	燃料(噸)		行 動 用 運 轉 用	總 航 程 (哩)	運 轉 時 數 (時)	強 速 以 上 (節)	原 速 (節)	投 錨 月 日	發 着 地 名	拔 錨 月 日
		海軍煉炭	三號塊炭								
		三號内部礦油	一號内部礦油	三號塊炭	三號塊炭	三號塊炭	三號塊炭	三號塊炭	三號塊炭	三號塊炭	三號塊炭
				0	0	0		8	11	ルオット	11
				330	360	336		10	13	ルオット	13
				300	280	317		10	18	ルオット	17
				400	400	434		10	19	ルオット	19
				0	0	0			17	ルオット	17
				300	0	0			19	ルオット	19
				100	200	260		8	20	ルオット	20
				100	200	190		8	21	ルオット	21
				0	0	0			27	ルオット	27
				150	700	750		8	28	ルオット	28
				90	0	0			29	ルオット	29
				705	680	713					

主機械、制式及數	堅型三聯成表面復水式 數一計	最近出渠年月日	平均吃水 (米)	補給水量 (瓶)	行動用系屑綿布等含瓶	潤滑油				
						油部外		油		
						合計	白紋油	二號外部礦油	三號外部礦油	合計
		一七一	三.五	〇.二	一	三		〇	三	〇.三
		一七	三.五	〇.六	三	七		九	三	七.二
		七一	三.五	〇.六	三	七		九	三	六.五
		七	三.五	〇.五	一	〇		〇	〇	一.〇
		二	三.四	〇.三	一	一		〇	一	〇.三
			三.五	〇.七	一	五		一	四	〇.五
			三.五	〇.四	一	九		三	六	一.四
			三.五	〇.三	一	九		三	六	一.五
			三.五	〇.三	四	三		八	三	四.七
			三.五	〇.四	二	〇		三	七	二.〇
			三.五	〇.〇	一	〇		〇	一	一.六
				五.八	一	九		三	二	七.〇

(四) 主機械、機動艇機械使用時數

罐番號	期	主罐制式及數	正使用時數 內部掃除度數 正取換度數	
		筒		船用多管式強圧通風型數 二
		項目		
	自一日至九日			
	自十日至二十日			
	自二十一日至三十日			
	計			

（ハ） 罐使用時數表

期	間	運転時數 (時一分)		總航程 (運)	機關待機 時間 (時一分)	機動艇機械使用 時數 (時一分)
		日	夜			
自一日	至九日	〇八	〇八	一〇	一ヶ月六二七一五	海軍型九米内火艇三十馬力數一
自二日	至七日	三三	三三	二八〇		
自八日	至九日	三二	三二	二八〇		
自十日	至十二日	四一	四一	四三〇		
自十三日	至十四日	〇二	〇二	二〇		
自十五日	至二十二日	〇一	〇一	二〇		
自二十三日	至二十四日	一五	一五	七〇		
計		七二	七二	六八〇		

空気圧縮 ポンプ		発電機				期				
力 量	制式及数	合 計	二 號	一 號	力 量	制式及数	間	合 計	二 號	一 號
	池具式單竹筒	七 一 七 一 四 五	一 一 四 五	七 〇 六 一 〇	一號 一〇キロワット 二號 五キロワット	一號 單氣筒蒸氣発電機 二號 ナセル(池具式) 発電機	自十一月一日 至十月三十一日	三 〇 七	一 一 一	一 九 六
								三 一 九	一 五 〇	一 六 九
								二 四 〇	一 三 〇	一 二 〇
								二 四 〇	一 二 〇	一 三 〇
								一 一 〇 六	五 〇 一	六 〇 五
								〇	〇	〇
								〇	〇	〇
		七 一 七 一 四 五	二 一 四 五	七 〇 六 一 〇			計			

(二) 補助機械使用時数(時分)

主機械制式及數		堅型三聯成表面復水式 數一	
期	間	日	時
航海中(時)念	即時待機	00.05	00.05
手節以上	十五分待機	00.05	00.05
又八全力	三分待機	00.05	00.05
碇泊中(時)念	即時待機	00.05	00.05
二時間待機	十分待機	00.05	00.05
以上	一時間待機	00.05	00.05
合計		0130	0130

四機關待機表
機關待機表

補眞		給額		月日		補給量		内訳		別数		量	
<p>口他艦船眞水補給</p> <p>五燃料眞水其ノ他軍需品補給 (一) 造水並眞水格載表</p>													
造水額(概)		格載額(概)		眞水		罐水		飲水		雑水		合計	
ナ		合		シ		ナ		ナ		ナ		ナ	
表備ナシ		二七二〇		一五〇〇		一 二二〇							
<p>記</p> <p>三時向待機概算 二五〇〇(10) 二二五〇(10) 八六〇〇(10) 一三〇〇(10) 一八三九(10) 三六三六(10) 三時向一三三</p>													

(二) 燃料 潤滑油 消耗品 搭載表

一三〇	二二一	五	第五昭南丸	飲	雑	水	一三〇
-----	-----	---	-------	---	---	---	-----

月	日	搭載場所	燃料	数量	単位	計
	二一九	クエゼン	海軍煉炭(甲型)	行八〇〇	kg	計
	二二二	クエゼン	海軍煉炭(甲型)	行四〇〇	kg	
	二二七	クエゼン	海軍煉炭(甲型)	行三〇〇	kg	
			二號機(炭)	搭載ナシ		
			一號普通揮發油			
			二號石油		(千)六〇〇〇	六〇〇〇
			一號外部礦油			
			二號外部礦油			
			一號内部礦油			
			系屑(綿布) (含ム) (概)			

(三) 燃料潤滑油消耗品費額表

外	平常用燃料			行動用燃料(石)			主要燃料量	期	間	
	二號石油	三號普通揮發油	海軍煉炭	合計	釀用海軍煉炭	英火汽三號塊炭				運輸用三號塊炭
七一	五四〇	一八〇	七〇	三五〇	〇	二〇	三三〇	一五八〇	自一日至五日	
七七	五四〇	〇	一三五	三七〇	〇	三〇	三四〇	二〇〇	自六日至十日	
〇	一八〇	一八〇	三五	〇	〇	〇	〇	二〇〇	自十一日至十五日	
一一	五四〇	一八〇	八〇	一〇五	〇	九五	一〇	一九〇五	自十六日至二十日	
三〇	五四〇	一八〇	〇	二五五	二〇〇	四五	一〇	二〇七〇	自二十一日至二十五日	
三三	五四〇	〇	〇	二六〇	七〇	三五	一五	一八三〇	自二十六日至三十日	
三二二	三七八〇	七二〇	四一〇	三〇〇	二七〇	三六五	七〇五		計	

糸屑(毛)		糸屑(毛)		潤滑油		内 部		(意) 油 滑 潤 部					
合 計	平 常 用	行 動 用	合 計	平 常 用	行 動 用	合 計	白 絞 油	常 用	平 常 用	用	動		
				潤滑油	潤滑油			潤滑油	潤滑油	潤滑油	潤滑油	潤滑油	
六	二	四	八四	一〇	七四	九一	三	〇	八		九		
六	二	四	八六	一〇	七六	九七	三	〇	八		九		
五	五	〇	三〇	三〇	〇	九	〇	〇	九		〇		
五	二	三	二二	〇	二二	一九	二	〇	二		四		
五	〇	五	五一	〇	五一	四〇	二	〇	〇		八		
四	一	三	五二	一〇	四二	三九	〇	〇	〇		六		
三一	一二	一九	三三〇	六〇	二七〇	二八五	一〇	〇	千七		三六		

別紙 第四

工作 自昭和十八年十月一日
至昭和十八年十一月三日

特設運送船香取丸

一 修理改造 新設 ナシ

二 工作機械ニ関スル事項 装備 ナシ

三 艦内工作

1. 艦内工作件数 (竣工件数、要求件数)

木具	金屬	種別/科
0/0	0/0	航海
1/1	0/0	砲術
0/0	0/0	水雷
0/0	0/0	通信
3/3	1/1	運用
0/0	3/3	機関
1/1	1/1	工作
0/0	0/0	醫務
1/1	0/0	主計
6/6	5/5	合計

2. 艦内工作工数

工数	細別	種別
10	鍛冶	金屬
25	機械	
10	仕上	
2	板金	
29	平均工数	木具
5	延食員	
3	木具	
0	船体	
10	平均工数	
3	延食員	

二 非金屬材料

修理材料	需料品	呼稱	品名	種別
0	0.5	個	鋼具道	鋼材
	0.5	個	鋼平	
	0	個	鋼形山	
	0	枚	鋼板	
	0	個	鋼棒	
	0	枚	鋼釘	
	0.1	瓦	鉄鋼	眞鍮材
	1	枚	板鍮眞	
	0	個	棒鍮眞	銅材
	1	枚	板銅	
	0	個	棒銅	
	0	個	無目継管銅	其他
	0	枚	板キリ7"	
	0	枚	板鉛重	
	0	瓦	金地鉛	
	2	瓦	板鉛	
	0.5	瓦	鍍白	

一 金屬材料

二 艦内工作材料費額表

三	三
一	手動ボルト盤

八 艦内工作機械使用時數 (時一分)

別紙
第五
表

材修 料程	材需 料量	呼 稱	品 名	種 別	
0	0	個	角松材	角材	
	0	個	角杉		
	0	個	太丸松	丸太材	
	0	個	太丸杉		
	0	枚	板合	材	
	1	枚	板檜		
	2	枚	板松ヤ		
	1	枚	板杉		
	0	枚	板檜		
	0	枚	板樺		
	0	枚	板樹		
	0.1	匹	釘旋螺銅		其 他
	0	匹	釘旋螺鉄		
	0.1	匹	釘銅		
	1.5	匹	釘鉄	他	
	0	米	紙圖製		
	0.3	匹	クツラ		
	0.2	匹	ス=ワ		

別紙第六

醫務衛生部昭和十八年十一月三日特設運送船隻取扱

一 西醫務衛生關係事項

再現役志望者三名對し身体検査施行、度合格

船内蟻駆除、為一五%クレゾール水消毒及寢具乾燥消毒

二 治療品塔載補給

治療品塔載ナシ

三 衛生狀況

受療患者ノ狀況

現員(延)	受療患者	痊愈患者	全治	療業	休業	送院	在院	記
三八六二	二五	〇	一五	六	三	〇	〇	三所内 三所外

別紙第七

會計經理部 昭和十八年十一月三日特設運送船隻取扱

一 經費ノ出納狀況

昭和十八年官房概算才一〇九五〇號ニ依ル經費管理廳第四海空經理部

二 俸給増俸家族渡 十一月分ヨリ取止

俸給支給額 三、四、四、七、三

三 増俸増給

(1) 前月より續々支給
 其上官上判任嘱託
 下士官兵 雇員
 五割額
 四割額

種	目	陳定保持日数	記	支給額	増	減	合	計
四	被服糧食	戰時特別給與品	戰時特別給與品酒保物品	現況(十月三十一日現在)	二六〇一八八〇	九九五〇〇	一七〇一三八〇	
被	服(定期貸與共)	一月分	但任用者被服半靴ナシ					
糧	食(米麦其他)	四月分	十月三十一日現在					
戰	時特別給與品	一月分						
酒	保物品	二月分						
艦	船(需品)	四月分						
五	被服糧食	補給状況						
補	給	昭和十七年八月出港以来補給ナシ						
補	給	元	搭載物品	搭載量				
一八	一一	四	生	野				
一八	一一	五	七	日				

1938

八二二五	八二二六	八二二八
"	"	"
野 程 品	生 程 品	"
二月 命	十日 命	三日 命
増 加 食 品 調 味 用	生 野 菜 ノ ミ	"

(終)